

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	総務企画部 産業振興課		事業実施(予定)年度	平成26年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	歴史文化に育まれた子どもエイサーや豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつながるまちとみぐすく」の実現を目的とする。また、とみぐすく祭り会場にて豊見城市産品を一堂に会した産業フェスタを併催することにより、市民および観光客等に対し、市内の各種産業の効果的なPRを行い産業の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,000	22,000	20,000	20,000	25,000
		(b) 予算現額	12,827	29,144	20,000	20,000	25,000
		(c) 増減額(b-a)	▲ 9,173	7,144	0	0	0
		(d) 繰越額	—			0	0
		A. 計(b+d)	12,827	29,144	20,000	20,000	25,000
	B. 執行済額		12,827	29,144	20,000	20,000	22,893
	うち交付金充当額		10,261	17,600	16,000	16,000	18,314
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	91.6%
予算の状況の説明		実行委員を組織し、予算の執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	とみぐすく祭りの開催	目標	(祭りの開催)	(祭りの開催)	(祭りの開催)	(祭りの開催)	
		実績	祭りの開催	祭りの開催	祭りの開催	祭りの開催	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	第36回とみぐすく祭り・第7回豊見城産業フェスタに係る経費助成について、遅滞することなく助成を行い、祭りを開催することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(30年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	とみぐすく祭りの来場者数: 80,000人	目標	(78,150人)	(91,500人)	(77,000人)	(80,000人)	()
		実績		66,959人	78,150人	57,178人	
	ハーリー大会参加チーム数: 63チーム	目標	()	(60チーム)	(63チーム)	(63チーム)	()
		実績		60チーム	中止	76チーム	
	進捗状況説明	・有名アーティストをキャスティングし、SNS等の活用やコンビニでのレジ前液晶による広告プロモーションを展開し、広く周知を行った。 ・1日目が天候に恵まれず肌寒い気候であったため、来場者が伸びなかった。					

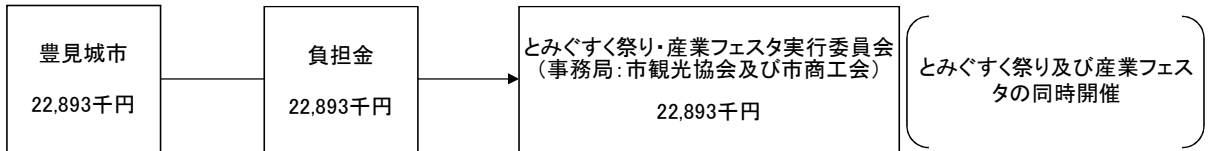
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・今回より11月開催(以前は7月開催)とし、変更に伴う周知を行ってはいいたが、結果周知が十分ではなく来場者が伸びなかった。 ・とみぐすく祭りと産業フェスタをエリア分けし同時開催したが、明確なエリア分けとなっていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催時期が移行したこと及び産業フェスタと同時開催となったことをさらに広く周知するため、横断幕やチラシ等の枚数や配布方法を検討していく必要がある。 ・明確なゾーン分けを行い、同時開催していることをアピール出来るように検討していく必要がある。

今後の取り組み方針

当該祭りの認知度も年々向上し、県外からの問い合わせも多く、人気は高まっている。しかしながら、豊崎地区への大型商業施設等の建設により、祭り開催時の駐車場確保が困難な状況となるため、公共交通機関利用のさらなる啓発を図る。祭りの開催時期を従来の7月から11月に変更したことの周知が十分に行えていなかったことから、効果的な周知方法を検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
25,618	22,893	18,314	4,579	2,725



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○観光振興及び市特産品のPRに資することを目的に市観光協会及び市商工会が事務局となるとみぐすく祭り実行委員会への負担金として支出したため、妥当であったと考える。 ○市内外の方を対象とした数万人規模の祭りであり、適正な予算規模であった。 ○とみぐすく祭り実行委員会事務局との負担関係は、組織の財政規模、受益等を考慮して配分しており、妥当である。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から要・不要等の判断を支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	観光振興地域 環境美化強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部署名	経済建設部 道路課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,444	6,105	6,200	6,200	6,200
		(b) 予算現額	10,023	6,105	6,200	6,200	6,200
		(c) 増減額(b-a)	▲ 421	0	0	0	0
		(d) 繰越額	—	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	10,023	6,105	6,200	6,200	6,200
	B. 執行済額		10,023	6,105	6,200	6,200	6,200
	うち交付金充当額		8,017	4,884	4,960	4,960	4,960
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	植栽樹の管理1387樹(2回、除草清掃・防除工)	目標	(植樹樹の除草・清掃)	(植樹樹の除草・清掃)	(植樹樹の除草・清掃)	(植樹樹の除草・清掃)	
		実績	植樹樹の除草・清掃	植樹樹の除草・清掃	植樹樹の除草・清掃	植樹樹の除草・清掃	
	プランターの植栽管理464個	目標	(プランターの植栽管理)	(プランターの植栽管理)	(プランターの植栽管理)	(プランターの植栽管理)	
実績		プランターの植栽管理	プランターの植栽管理	プランターの植栽管理	プランターの植栽管理		
達成状況説明	・瀬長島、豊崎地区の植栽樹1385樹(交差点改良工事により2樹減少)の抜根除草及び除草剤散布等を行った。 ・平成25年度に設置したプランター464個への灌水等を実施し植栽管理を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			70%	81%	
	【参考指標】 ・植樹樹の除草清掃 ・プランターの植栽管理による魅力ある観光地の形成	目標	()	(1387樹/3回 464個)	()	()	()
		実績		1387樹/3回 464個			
進捗状況説明	植樹樹・プランター等についてのアンケート調査を、年度末の3月に本市の主要観光地である豊見城市観光プラザにて実施した。11名からの回答を集計した結果、81%が「魅力的な観光地の景観である」と回答し、目標値である80%を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・プランター内の花木が枯れてしまい減少しつつあるので、花木の追加等を行う必要がある。 ・3月に行ったアンケート調査にて回答者の45%が「管理が行き届いてない」と回答していたため、適正な管理に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・枯れづらく南国沖縄らしい、また防草対策にもなるような花木の追加を検討する。 ・適正な管理について雑草やごみの撤去を定期的に行うよう検討する。

今後の取り組み方針

・専門業者へヒアリング調査を実施し、枯れづらく南国沖縄らしい、また防草対策にもなるような花木を捕植する。
 ・雑草やごみの撤去を当該事業のみだけで行うのではなく、市でも定期的に見回りをを行い適正な管理に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,200	6,200	4,960	1,240	0



・植樹樹の除草清掃及びプランターへの灌水等に係る委託業務

資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により決定しており、妥当であったと考えられる。 ○予算規模は、積算基準等に基づいて編成しており、適正であったと考えられる。 ○費用・用途について委託業務に必要な除草清掃費用、プランター灌水費用を計上しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	都市計画部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成28年度～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
事業内容	市内一周線の再編について、検討、評価を行うため、前年度実施した新庁舎移転後に行ったバスルート変更前の事前調査を基に、バスルート変更後のバス利用状況調査、ルート再編の評価、課題の整理及び豊見城市の望ましい公共交通のあり方の検討を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度()						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		13,952	21,600	9,720	14,850	
			13,889	19,764	11,582	8,110	
			▲ 63	▲ 1,836	1,862	▲ 6,740	
			—				
			13,889	19,764	11,582	8,110	
	B. 執行済額		13,889	19,764	11,474	8,109	
	うち交付金充当額		11,111	15,811	9,179	6,487	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	
予算の状況の説明		当初予算額と最終予算との差額は、当初予算額と予定価格の差額が大きくなった為である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	バスルート再編後の事後調査、評価、検証及び課題の整理	目標	()	()	()	(R2年3月 完了)	
		実績				R2年3月 完了	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	H31年4月にルート変更を実施したことによる、調査や検証等をR2年3月31日までに完了した。 〈調査〉ルート変更後のバス利用者実態調査(バス停別乗降者数の把握、アンケートの実施、データ分析) 〈評価・検証〉過年度の評価指標を踏まえ、R1年度の評価指標の見直し後、計測結果を基に評価の検証を行った。 検証結果を踏まえ、課題を整理し、今後の取組方針を決めた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	目標	()	()	()	(80%)	()
		実績				81%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・バス利用者実態調査については、6月と1月の2回(計:4日)調査を行った。また、市民アンケートについては、対象者を無作為に抽出しアンケート調査を実施した。その結果、ルート変更による利便性の確保の目標値(80%以上)を上回ることができた。					

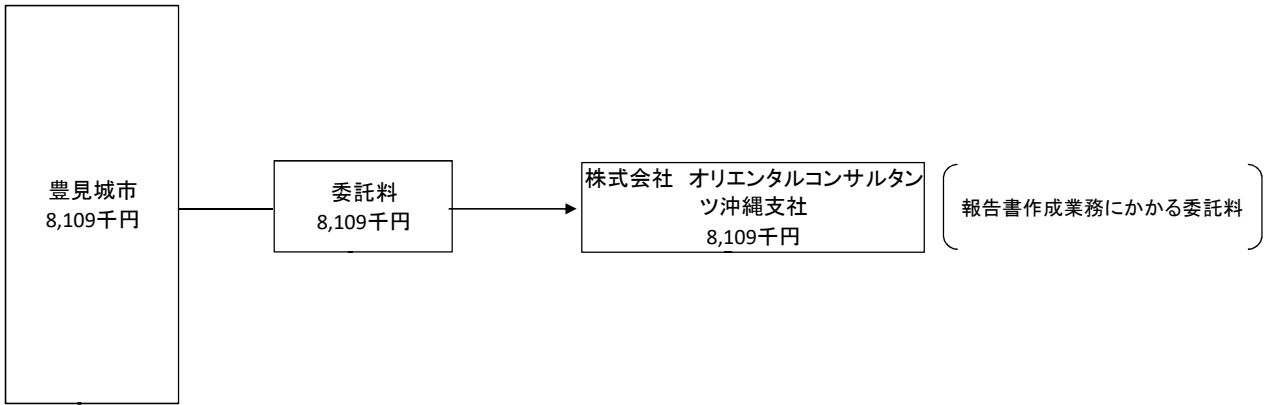
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(利便性の確保) ・朝のラッシュ時に通過バス停を導入し、定時性の確保を行った。また、ルート変更による市内主要拠点と公共交通不便地域の利用者数が増加したことにより、目標値達成の要因になったと考えられる。 ・全体では、「運行本数」や他の公共交通との「乗り継ぎ利便性」についての意見があったことから、今後検討していく予定。	・運行時間や運行ルートの周知を図り、現在の利用者に対しても、継続的な利用促進を図る必要がある。

今後の取り組み方針

・市内一周バスに関しては、現ルートでの定着を図る必要があり、周知・啓発活動を継続的に実施していくとともに、新たな公共交通システム導入に向けた支援策等の実施を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,109	8,109	6,487	1,622	0

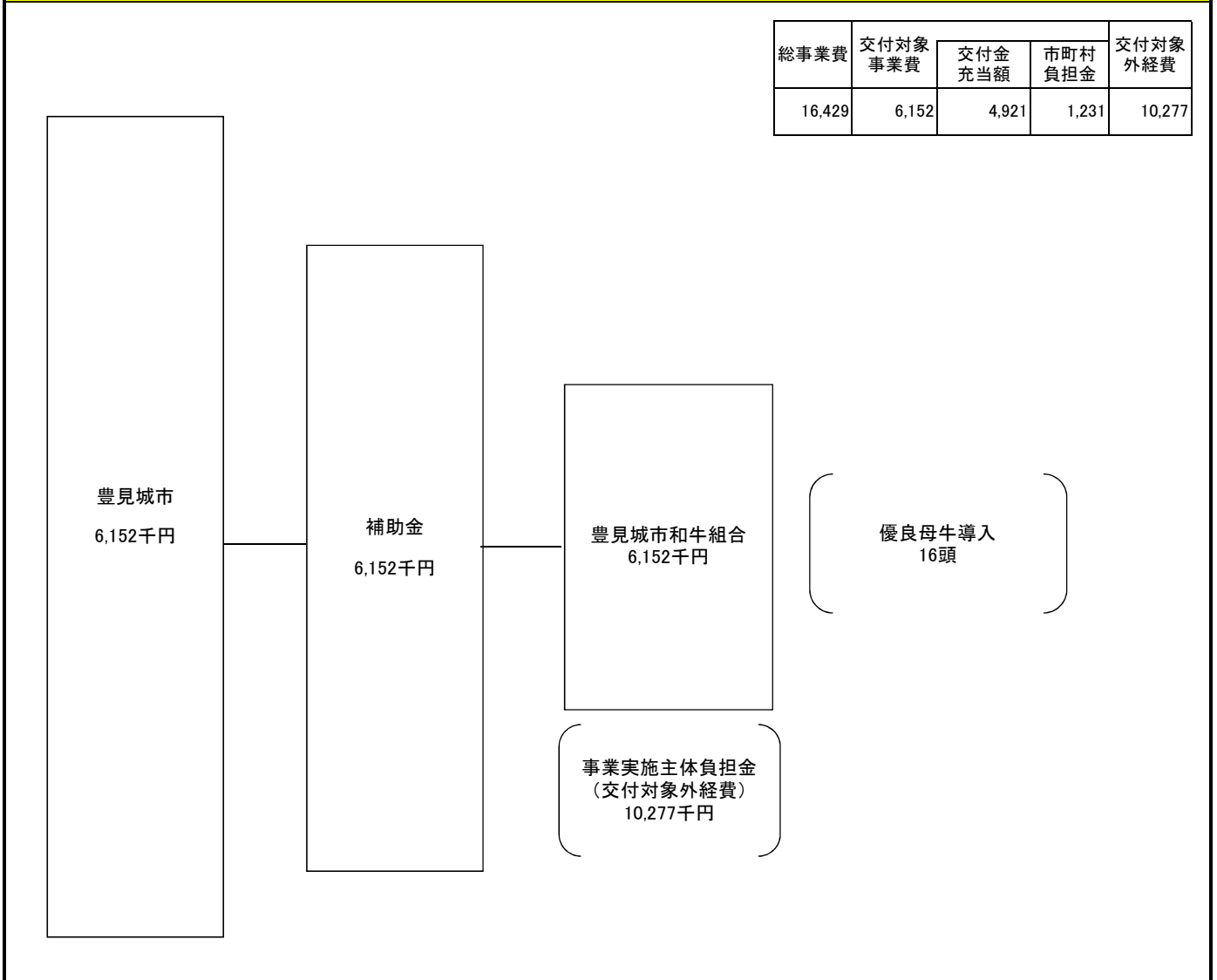


資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・用途については、完了検査を実施し適正なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	優良母牛導入支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-(ア)		
担当部署名	経済建設部 農林水産課	事業実施(予定)年度	平成27～令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(7)		
事業内容	優良母牛の導入を促進し、畜産農家の資産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
		(a) 当初予算額	6,000	6,000	6,000	6,400	6,400	
	(b) 予算現額	6,000	6,000	5,719	6,011	6,152		
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 281	▲ 389	▲ 248		
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)	6,000	6,000	5,719	6,011	6,152		
	B. 執行済額	5,645	5,837	5,719	6,011	6,152		
	うち交付金充当額	4,516	4,669	4,574	4,808	4,921		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	94.1%	97.3%	100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	・計画していた事業内容を実施しており活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えられる。 ・セリ市場で優良母牛を安く落札できたため執行額が減となった。							
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	優良母牛導入に対する補助		目標	(補助)	(補助)	(補助)	(補助)	
			実績	補助	補助	補助	補助	
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明	牛のセリ価格が高騰傾向にある中、家畜セリ上場頭数の情報共有化及び県内外での購入を行うことによりスムーズに対応することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(110%)		目標	()	(110%)	(110%)	(110%)	()
			実績		116%	119%	113%	
	【参考指標】優良母牛導入頭数		目標	()	(16頭)	(16頭)	(16頭)	()
			実績		16頭	16頭	16頭	
進捗状況説明	令和元年度において、合計16頭導入し、4ヶ年導入実績77頭となった。また導入牛から生まれた子牛の平均価格が795,928円に対して、そうでない子牛の平均価格が701,459円となっており、成果目標を達成できた。 ・5月沖縄県(今帰仁セリ市場)1頭 沖縄県(久米島セリ市場)1頭 ・6月沖縄県(南部セリ市場)1頭 ・7月沖縄県(南部セリ市場)2頭 鹿児島県(曾於セリ市場)2頭 ・9月鹿児島県(与論セリ市場)2頭 鹿児島県(徳之島セリ市場)1頭 沖縄県(南部セリ市場)1頭 ・11月鹿児島県(与論セリ市場)2頭 ・12月沖縄県(南部セリ市場)1頭 鹿児島県(肝付セリ市場)1頭 ・1月鹿児島県(曾於セリ市場)1頭							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初計画では3年計画であったが延長、継続することで、さらなる和牛群改良を促すとともに畜産業の振興にもつながる。	出荷時に高値がつくようにセリ結果などから血統の情報の更新や共有を行い、優良種雄牛の種付けにつながる対応が望まれる。
今後の取り組み方針		
優良母牛への更新を行うのと並行して、専門的な知識の共有を図るため飼養管理に関する講習会等を行い優良種雄牛の種付けにつながる対応につなげていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業実施主体は、補助金交付要綱により適正に事業実施している。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者である豊見城市和牛組合は総事業費の5割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ
担当部署名	福祉健康部 保育こども園課	事業実施(予定)年度	平成26年～令和3年度	地域における子育て支援の充実
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4

事業内容
市内認可保育施設・私立幼稚園・認可外保育施設における「特別な支援を必要とする子」への保育の充実ときめ細かい対応及び早期発見を図る為、臨床心理士の専門指導員を配置し、巡回相談・支援を行う。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	5,183	5,242	5,251	5,259	5,729
		(b) 予算現額	5,183	2,969	3,686	5,259	5,729
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 2,273	▲ 1,565	0	0
		(d) 繰越額	—	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	5,183	2,969	3,686	5,259	5,729
	B. 執行済額		4,969	2,780	3,674	5,131	5,035
	うち交付金充当額		3,975	2,223	2,938	4,104	4,028
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.9%	93.6%	99.7%	97.6%	87.9%
	予算の状況の説明		臨床心理士1名が令和2年2月末で退職した事と、社会保険料が当初予定より減額となった事による執行済額との差額発生。				

活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況			
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		臨床心理士配置	目標 (2人)	(2人)	(2人)
	実績	1人	2人	2人	2人
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	臨床心理士2名を配置し、市内保育施設・幼稚園を計画通り巡回相談を実施し、気になる子とその保護者との面談や保育士と連携を図る事で、子育て支援及び負担軽減を図る事ができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め保護者・保育士へアンケートを実施する	目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)
		実績	保護者:83% 保育士:91.7%	保護者:85.3% 保育士:92.6%	保護者:86.4% 保育士:90.2% 平均 88.3%	
	【参考指標】 「特別な支援を必要とする子」への対応や保護者への相談・支援件数	目標 ()	(160件)	(200件)	(300件)	()
		実績	253件	398件	467件	
進捗状況説明	市内保育施設及び入所児童数の増加に伴い発達の気になる子どもも年々増加傾向にある。巡回相談においても相談・支援件数が前年よりも更に増えている状況です。					

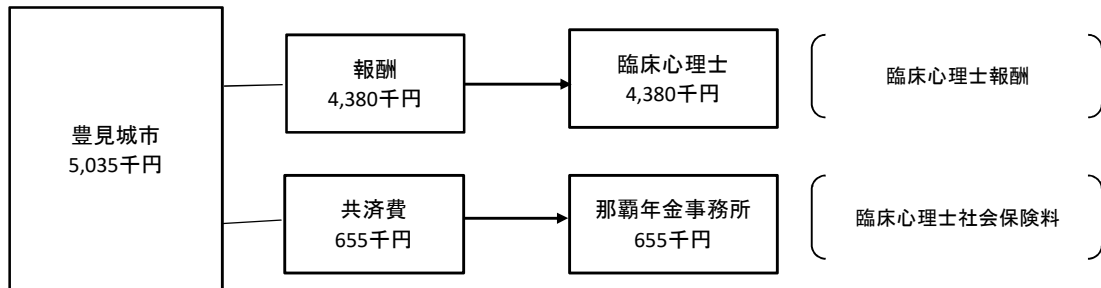
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①巡回相談及び個別の相談件数も毎年1割以上増えており、臨床心理士(嘱託職員)2名体制で対応する事が厳しい状況である。 ②気になる子とのかかわり方及びその保護者への声かけが難しいとする保育士の相談が増えている。	①臨床心理士(正規職員)を新規採用し、令和2年度以降の体制強化を図る。 ②ティーチャーズトレーニング研修を活用し、保育士の質の向上に繋げる事で、その後の保育業務における不安解消を図る。

今後の取り組み方針

- ①臨床心理士(会計任用制度職員)も含めた巡回相談事業の体制強化を図る。
 ②検査技術講習への研修を組んで臨床心理士のスキルアップや質の向上を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,035	5,035	4,028	1,007	0



資金の流し、費目・点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・臨床心理士の人件費としては、過大ではない。 ・臨床心理士の人件費として最低限必要な報酬、社会保険料の支出に限定されており、適正である。 ・事業に係る人件費(報酬・社会保険料)に限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-②	心理相談事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ
担当部署名	健康福祉部 子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成27年度～令和3年度	地域における子育て支援の充実
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4

事業内容
 ・乳幼児健診において臨床心理士を配置し、乳幼児健診の充実を図るとともに、発達支援を要する乳幼児の早期発見に努める。また、乳幼児健診後の事後フォローとして親子教室、個別相談を行い、適切ななかかわり方の助言や育てにくさを抱える保護者の育児不安軽減を図る。
 ・発達支援を必要とする乳幼児については、保育所、療育機関、医療機関等と連携し早期支援につなぐ。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	5,183	2,605	2,627	1,010	2,827
		(b) 予算現額	5,183	2,605	230	620	2,827
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 2,397	▲ 390	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	5,183	2,605	230	620	2,827
	B. 執行済額		4,969	2,454	120	590	2,508
	うち交付金充当額		3,975	1,963	96	472	2,006
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.9%	94.2%	52.2%	95.2%	88.7%
	予算の状況の説明		人材確保でき、事業計画どおり実施できた。				

活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況			
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		各事業での心理相談・個別支援と事業運営 ・幼児健診・事後支援 28回 ・親子教室(運営・指導) 12回 ・心理相談(運営・指導) 24回 ・経過観察クリニック 4回 ・関係機関会議の参加 5回 計73回	目標 (42回)	(23回)	(69回)
	実績 42回	12回	65回	88回	
	目標 ()	()	()	()	
	実績				
達成状況説明	1年間、常勤の臨床心理士を配置することができ、毎月の健診にて保護者の相談開始し、個別相談、教室案内、継続フォローと安定的な相談支援が行え、結果、面談実績が大幅に増加した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		臨床心理士への相談による育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	100%	95.90%	96.80%	
			目標 ()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	個別心理相談後に保護者アンケートを実施した。回収した94件のうち91件(96.8%)が「心理相談を受け、悩みや不安が軽くなった」との回答が得られた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>常勤の臨床心理士を配置でき、対象者を把握する健診からの継続フォローや、関係機関、連携するチームへの引継ぎ調整が途切れることなく実施できた。</p> <p>円滑な相談支援体制が整えられたため、相談の質を維持でき、保護者の満足度にも反映されたものとする。</p>	<p>臨床心理士の配置は、発達障がい児の早期支援において必要であることが関係機関、関係職種にも強く認識されている。</p> <p>今後は、正規職員としての配置と、市で発達支援計画が策定されていくことが望ましい。</p>

今後の取り組み方針
<p>正規職員の配置による、乳幼児の発達支援の強化を図る。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,508	2,508	2,006	502	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○臨床心理士の募集は公募であり、適正な選定である。</p> <p>○予算額の執行率は97.2%となっており、適正な規模である。</p> <p>○事業の性質上、受益者の負担は無しで妥当と考える。</p> <p>○事業予算は完了時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	特別支援教育支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-(ア)
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成28年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				確かな学力を身につける教育の推進
				Ⅲ-3-(1)

事業内容	特別に支援を要する児童生徒に対し特別支援教育支援員を配置し教育活動の充実を図る。
------	--

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)
--------	---

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	--

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		114,576	74,053	67,252	63,837
			77,449	54,954	36,369	47,474
			▲ 37,127	▲ 19,099	▲ 30,883	▲ 16,363
			77,449	54,954	36,369	47,474
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		76,533	56,000	35,643	36,238
			61,226	44,799	28,514	28,990
			98.8%	101.9%	98.0%	76.3%
	予算の状況の説明	当初予定していた特別支援教育支援員の人数が確保できなかったため、12月補正及び3月補正にて当初予算より16,363千円減額した。				

R1活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
特別支援教育支援員配置数:30人	目標	(45人)	(43人)	(26人)	(30人)
	実績	43人	36人	27人	29人
特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施	目標	()	(1人)	(1人)	(1人)
	実績		1人	1人	1人
達成状況説明	特別支援教育支援員の配置について、年間を通して募集を行ったが当初計画の30人の配置ができなかった。特別支援教育コーディネーターについて、10月採用となったため年度当初からの活用が行えなかった。				

R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)
	実績		81%	86.6%	82.6%	
【参考指標】 支援を要する園児児童生徒への配置(%) 100%	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	特別支援教育支援員の支援を受けている保護者に対してアンケートを実施した結果、大変満足が52.2%、概ね満足が30.4%となった。					

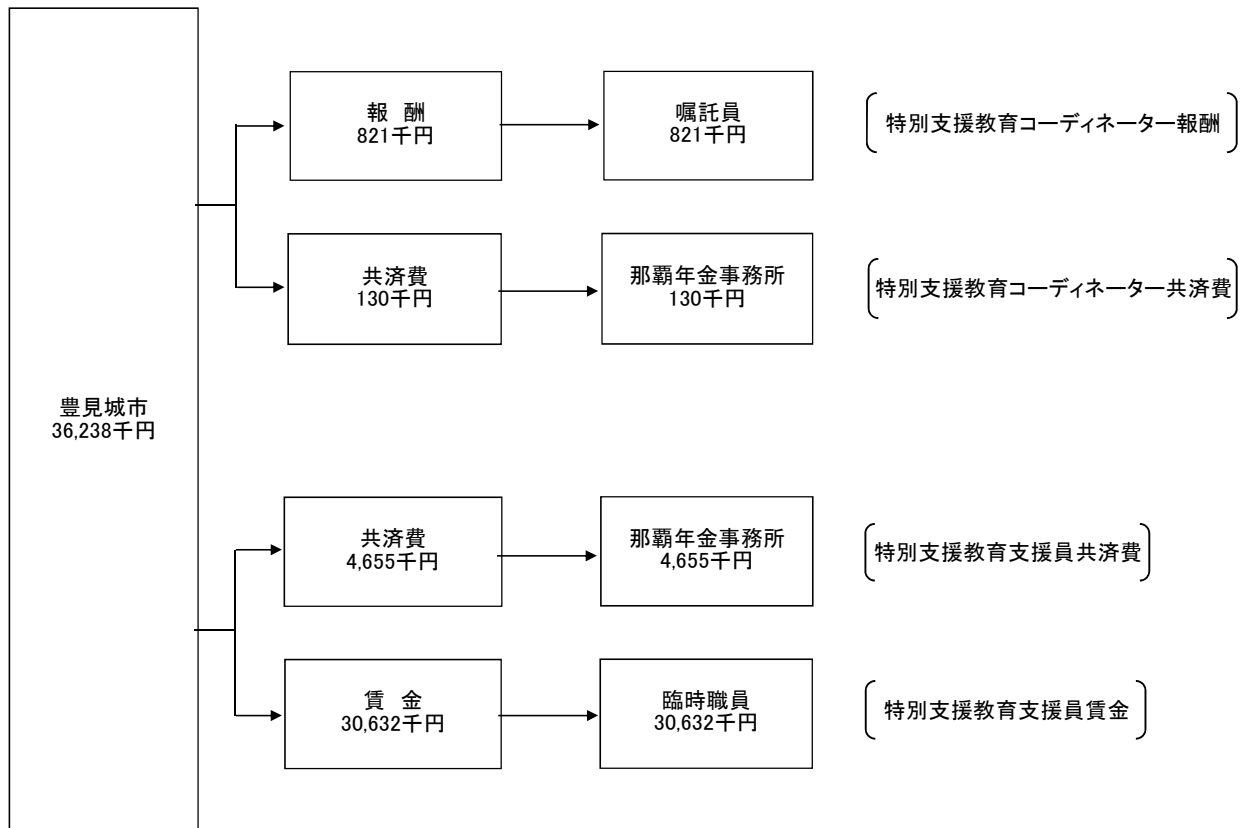
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>教員免許資格を有する者を優先的に配置していることで学習面・生活面の両方においてきめの細かい支援が行えた結果、満足度へ繋がったと考えられる。</p>	<p>年度当初より予定数の支援員を確保できなかったため、「掛け持ち支援」等により対応したが、保護者からは更なる支援の充実が求められている。支援員の確保については、経験者を優先採用するなどして年度当初からの学校配置へつなげ、支援の充実を図る。</p>

今後の取り組み方針

支援員を年度当初から確保できるよう継続勤務希望者を優先雇用するとともに、新規支援員の確保については、ハローワークへの求人掲載のほか退職教諭へのアプローチを行い支援員の確保へと繋げ、支援の充実を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,238	36,238	28,990	7,248	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○特別支援教育支援員の採用については面接を行い採用している。</p> <p>○予算規模は事業に見合った規模であるとする。</p> <p>○費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	学力向上サポート事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-(イ)	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	小中学校教諭の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい教育支援を行い学力向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,400	23,491	22,719	23,192	27,610
		(b) 予算現額	21,859	19,831	20,808	20,720	26,344
		(c) 増減額(b-a)	▲ 541	▲ 3,660	▲ 1,911	▲ 2,472	▲ 1,266
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	21,859	19,831	20,808	20,720	26,344
	B. 執行済額		21,340	19,205	20,915	20,014	21,614
	うち交付金充当額		17,072	15,364	16,732	16,011	17,291
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		97.6%	96.8%	100.5%	96.6%	82.0%
予算の状況の説明		学力向上推進補助員について、当初計画どおり配置できなかった期間があったため、他事業への流用457千円と3月補正809千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	学力向上推進補助員配置数(各校1人) 小学校:8人 中学校:3人	目標	(小学校:8人 中学校:3人)	(小学校:8人 中学校:3人)	(小学校:8人 中学校:3人)	(小学校:8人 中学校:3人)	
		実績	小学校:8人 中学校:3人	小学校:8人 中学校:3人	小学校:8人 中学校:3人	小学校:8人 中学校:3人	
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	途中退職等もあったが、代替を配置するなどして間を開けず目標とおりの配置が年間を通して行えた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校: +2.8ポイント 中学校: +1.9ポイント	目標	()	(小: +2.3 中: +2.2)	(小: +2.3 中: +2.2)	(小: +2.8 中: +1.9)	()
		実績		小: +3.0 中: +1.3	小: +2.0 中: -0.1	小: +2.9 中: -0.7	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	小学校 小学3年～6年を対象とした県学力到達度調査の結果、市平均62.32ポイント、県平均59.42ポイントとなり+2.9ポイント市平均値が上回った。 中学校 中学1、2年を対象とした県学力到達度調査では、市平均53.5ポイント、県平均54.28ポイントとなり-0.7ポイント市平均が県平均を下回った。					

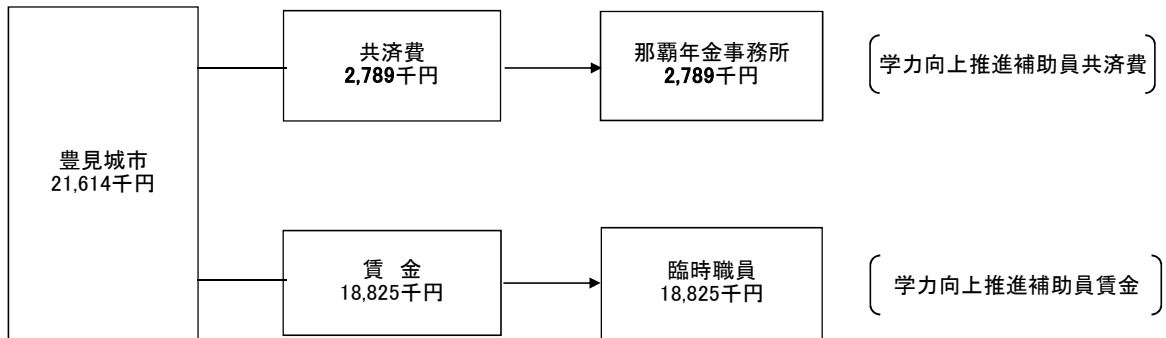
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	小中学校ともに学力向上推進補助員の配置が年度当初より行えたことから教育環境の充実が図られたが、中学校においては2年時の全教科において県平均正答率を下回る結果となっている。	中学2年の学力向上が喫緊の課題となっており、教科担任と学力向上推進補助員による授業実践の連携や教材研究等を行い、教育の充実を図る必要がある。

今後の取り組み方針

各小中学校ともに担任や教科担任との連携を図るため、補助員活用計画を立てるとともに教材研究等、連携に必要なスキルアップを行っていく。
 なお、中学校においては県学力到達度調査の結果が2年連続県平均を下回っていることから、各学校において実態把握に努め対策を講じていくよう指導を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
21,614	21,614	17,291	4,323	0



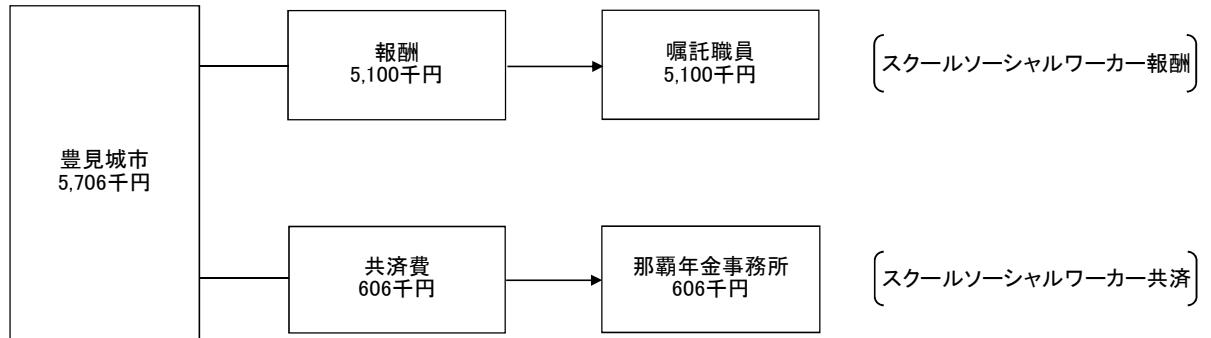
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学力向上推進補助員の採用については面接を行い採用している。 ○予算規模は事業に見合った規模であるとする。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	スクールソーシャルワーカー配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-(イ)	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	問題を抱える児童生徒の環境改善を図り、児童相談所などの関係機関とのネットワーク構築のためスクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,687	6,481	5,901	5,901	7,081
		(b) 予算現額	1,687	5,524	5,527	5,492	7,081
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 957	▲ 374	▲ 409	0
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	1,687	5,524	5,527	5,492	7,081
	B. 執行済額		1,484	5,495	5,503	5,443	5,706
	うち交付金充当額		1,186	4,396	4,402	4,354	4,564
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		88.0%	99.5%	99.6%	99.1%	80.6%
予算の状況の説明		事業計画とおり予算の適正執行が行えた。不用額1,375千円については、社会保険料の執行残。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	スクールソーシャルワーカー配置数:3人 市内小中学校への巡回配置	目標	(3人)	(3人)	(3人)	(3人)	
		実績	3人	3人	3人	3人	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	年度当初から計画とおり3人のスクールソーシャルワーカーを採用し小中学校への巡回配置を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	支援対象ケース改善率:36%	目標	()	(32.0%)	(32.0%)	(36.0%)	()
		実績		45.21%	41.66%	41.73%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	支援対象件数127件中、改善した件数37件、改善傾向にある件数16件、改善率41.73%で成果目標達成となったが、対象ケースが継続案件、新規案件と毎年状況が読めないでいる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>毎年の支援対象ケースが複雑であるとともに新規案件等の状況把握も困難である中、昨年度に比して支援対象件数が156件から127件へと29件減少していることは事業継続の成果と言える。</p>	<p>スクールソーシャルワーカーとしての経験値の高い職員の配置により、よりきめの細かい支援と関係機関との連携が構築できる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>経験値の高いスクールソーシャルワーカーの配置により、学校や市役所福祉部門など関係機関との連携をスムーズに行うとともに、支援対象となる児童生徒の環境改善に取り組んでいく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,706	5,706	4,564	1,142	0



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○スクールソーシャルワーカーの採用については面接を行い採用している。 ○予算規模は事業に見合った規模であるとする。 ○費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	不登校等対策支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-(イ)	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し学習支援員等を配置し、生徒指導や教育相談等を行い登校復帰及び社会的自立へと支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	20,344	14,139	11,332		
	(b) 予算現額	16,960	13,258	11,178			
	(c) 増減額(b-a)	▲ 3,384	▲ 881	▲ 154			
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	16,960	13,258	11,178			
	B. 執行済額	16,696	12,931	9,456			
	うち交付金充当額	13,356	10,344	7,565			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	98.4%	97.5%	84.6%			
予算の状況の説明	事業計画とおり予算の適正執行が行えた。不用額154千円については、3月補正にて減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	学習支援補助員配置数:3人 中学校:1人 適応指導教室:2人	目標	(中:3人 適:2人)	(中:3人 適:2人)	(中:1人 適:2人)	()	
		実績	中:3人 適:2人	中:3人 適:2人	中:1人 適:2人		
	登校支援員配置数:4人 小学校に巡回配置	目標	(4人)	(4人)	(4人)	()	
		実績	2人	4人	4人		
達成状況説明	学習支援補助員については、中学校配置支援員と適応指導教室配置支援員ともに年度当初から計画とおりの採用・配置が行えた。登校支援員についても、年度当初から計画とおりの採用・配置が行えた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R3年度)	
			()	(20%以上)	(20%以上)	(20%以上)	(30%)
	不登校児童生徒復帰率:20%以上	目標	()	(20%以上)	(20%以上)	(20%以上)	(30%)
		実績		18.50%	17.77%	18.48%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	令和元年度小学校における不登校児童35人に対し4人、中学校における不登校生徒84人に対し18人が登校復帰した。						

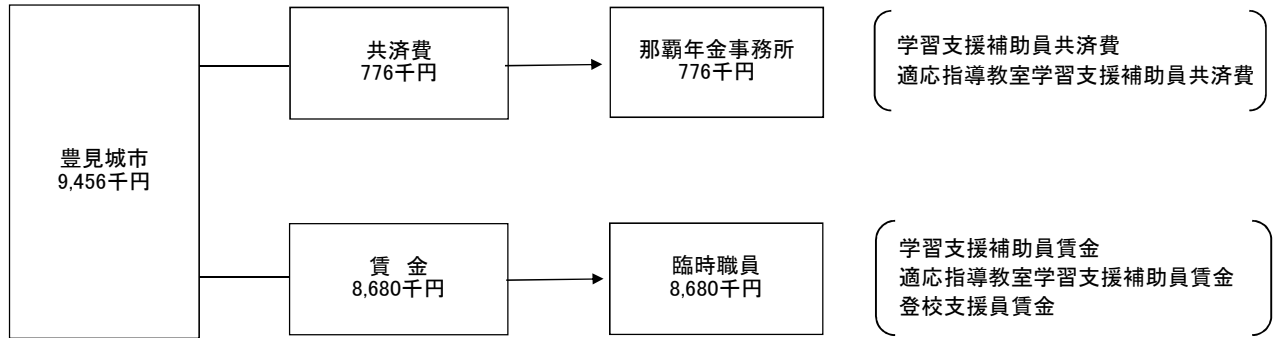
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>登校復帰率が昨年比で0.71ポイント改善しており、登校支援員による継続的な支援が着実に成果を挙げていると考えられる。</p>	<p>小学校2校を兼務する配置となっているため、切れ目のない支援提供に支障が生じているケースがみられるため、担任やスクールソーシャルワーカー等との連携により継続した支援体制を構築する。</p>

今後の取り組み方針

不登校児童生徒が毎年増えていく状況にあり、支援内容も複雑・多岐にわたることから、登校支援員の配置を見直し、各校1人体制に拡充し、更に充実した不登校対策に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,456	9,456	7,565	1,891	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○各支援員の採用については面接を行い採用している。</p> <p>○予算規模は事業に見合った規模であると考えられる。</p> <p>○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑤		英語教育推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-(ア)	
担当部署名	教育部 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度		国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	国際化時代に対応した人材育成を目的に中学校に対し外国人英語講師を配置する。また、小学校における外国語活動に対し日本人英語講師を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,876	20,296	23,968		
		(b) 予算現額	20,876	20,296	22,923		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 1,045		
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		20,876	20,296	22,923		
	B. 執行済額		20,380	20,232	20,703		
	うち交付金充当額		16,303	16,185	16,562		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		97.6%	99.7%	90.3%		
予算の状況の説明		人件費、委託費ともに適正に予算執行ができた。 委託事業における不用額339千円は他事業へ流用し、外国人英語講師の人件費執行残については3月補正にて706千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	外国人英語講師(ALT)配置数:3人	目標	(4人)	(4人)	(3人)	()	
		実績	4人	3人	3人		
	日本人英語指導講師(JTE)派遣校数:小学校8校	目標	(8校)	(8校)	(8校)	()	
実績		8校	8校	8校			
達成状況説明	外国人英語講師については、年度当初から計画とおりの採用・学校配置が行えた。 日本人英語指導講師については、市内小学校全8校に対し13人の講師派遣を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(74%以上)を含め、本人へのアンケートにより事業のあり方を検証する。	目標	()	(70%)	(80%)	(74%)	()
		実績		76.60%	69.80%	70.79%	
	中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +4.0ポイント	目標	()	()	(+3.5ポイント)	(+4.0ポイント)	()
		実績			+2.6ポイント	-2.5ポイント	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	小学校では成果目標未達となったが、前年より約1ポイント増の70.79%となった。 中学校では3校中2校では県平均近似値となっているが、1校において県平均に対し-6.4ポイントとなっており、その結果昨年を大きく下回る状況となっている。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>小学生 小学校では、継続した外国語教育の実践により、着実に外国語への興味・関心度が高まってきている。</p> <p>中学生 市内2中学校では概ね県平均値となっているが、1校が大きく下回る結果となっており、それにより今回の成果目標未達の原因となっている。</p>	<p>小学生 各学年の学力等を踏まえ、コミュニケーションを中心とした授業実践により児童の興味・関心を惹きつける工夫が必要である。</p> <p>中学生 県平均値を大きく下回っている学校に対しては、教科担任による補習講座等の実施に加えてALTの活用方法について改めて検討を行い学力向上へと繋げる必要がある。</p>

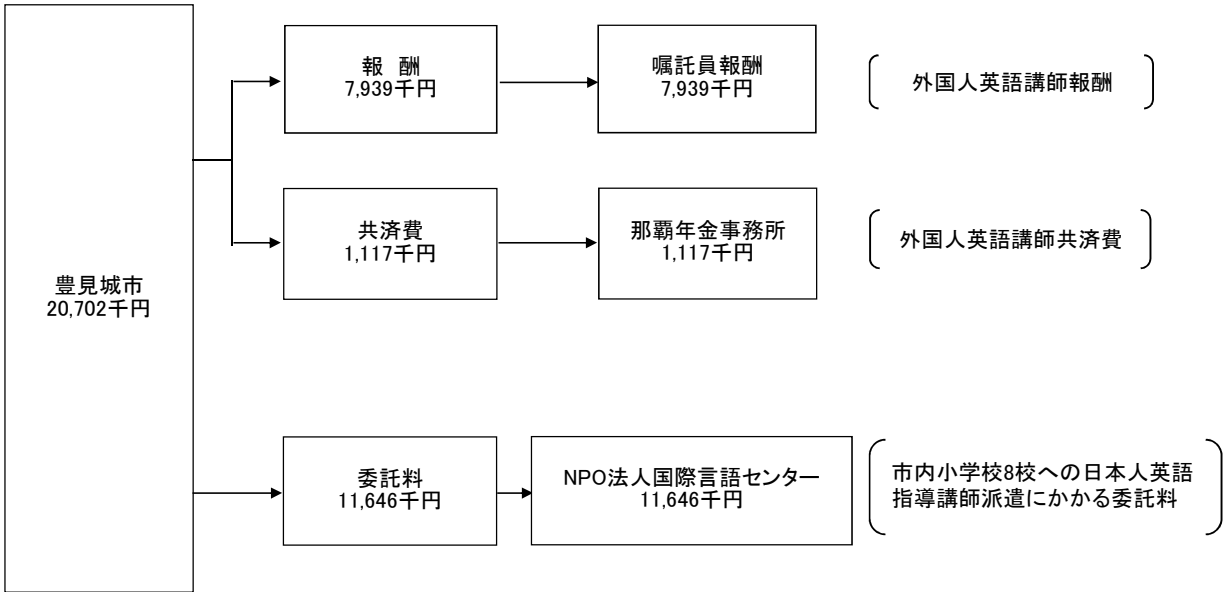
今後の取り組み方針

小学校
令和2年度より小学校5、6年生は英語が教科化されることから、授業時数を確保するとともに教科書に沿った授業実践が必要となる。

中学校
指導主事、学校、教科担当教諭、ALTにおいて指導方法の研究や教材研究を実施し、学力向上対策を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
20,702	20,702	16,562	4,140	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○NPO法人国際言語センターについては、プロポーザルの実施により選定した。</p> <p>○外国人英語講師については、面接を行い採用している。</p> <p>○予算規模は事業に見合った規模であるとする。</p> <p>○費目・用途については、実績報告書や出勤簿、業務日誌等の書類により確認、適正である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑥		ICT教育推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-(ア)	
担当部課名	教育部 学校教育課		事業実施(予定)年度	令和1年度～令和3年度		国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
事業内容	分かりやすい授業により教育の質の向上を図り児童生徒の学力向上、情報活用能力の向上を図るため学校にICT機器を整備するとともにICT機器を活用した授業を支援するために情報教育補助員を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		56,763				
			78,067				
			21,304				
			—				
			78,067				
	B. 執行済額		76,239				
	うち交付金充当額		60,991				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		97.7%				
予算の状況の説明		電子黒板を整備するため9月補正において7,133千円増額した。 令和2年度より使用するデジタル教科書購入のため12月補正において14,573千円増額した。 情報教育補助員について、計画とおりの配置ができなかったため3月補正において402千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度		
	情報教育補助員派遣数:3人	目標	(3人)	()	()	()	
		実績	2人				
	教師用タブレットPC整備台数:307台	目標	(307台)	()	()	()	
		実績	307台				
	電子黒板整備台数:8台	目標	(8台)	()	()	()	
		実績	8台				
	デジタル教科書整備校数:小学校8校	目標	(8校)	()	()	()	
		実績	8校				
達成状況説明	情報教育補助員については、当初計画の3人から2人ととどまったため、2人体制で市内小中学校の支援にあたった。 教師用タブレットPCについては、当初計画とおり307台整備を行った。(指名競争入札) 電子黒板については、11学級増として当初予定していたが、児童生徒数の推移により8学級増の想定値となったため、小中学校に対し8台整備を行った。(指名競争入札) 令和2年度から使用されるデジタル教科書を市内小学校8校に対し整備を行った。(指名競争入札・一部随意契約)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	教員にアンケート調査を実施し、情報教育補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		81.00%			
	児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		93.29%			
	進捗状況説明	教員へのアンケート結果 教員に対するアンケートを実施した結果、自身のICT機器の習熟度が上がったと答えた教員は81%となり目標達成となった。 児童生徒へのアンケート結果 児童生徒に対するアンケート結果は、小学校で950人にアンケート調査を実施した結果、94.94%の児童がICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた。中学校では318人中、88.36%の生徒がICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた。					

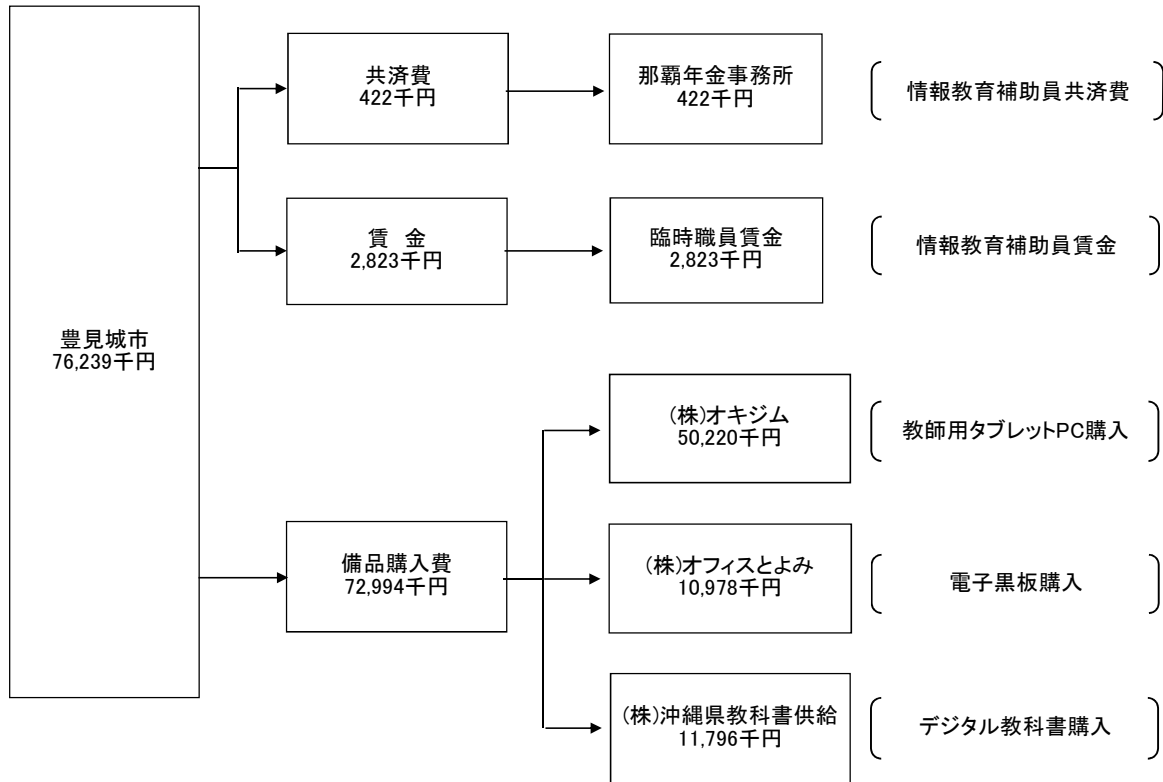
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	ICT機器を使った授業実践により理解度が深まり児童生徒の興味や関心も高まっていることがわかる。今後は、プログラミング教育の進展により更なるICTを活用した授業実践が求められる。	授業実践に用いられる電子黒板や操作用PCが全ての教室へ配置されていることから、今後はソフト面の充実を図ることで更なるICTリテラシーの向上を図る。

今後の取り組み方針

児童生徒ひとり1台端末の配置により、これまでのICT教育を更に加速させるとともに、通信環境の充実とデジタル教材等の整備によりICTを活用したわかりやすい授業実践を行うとともに、教員の操作技術の向上のみならずICTを駆使した授業実践のためのスキルアップを図る必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
76,239	76,239	60,991	15,248	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ICT機器類の購入先は指名競争入札により適正に選定している。 ○予算規模は事業に見合った適正な規模であった。 ○費目・用途については、事業目的達成のため必要であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-(イ)	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費に対し補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,200	7,200	6,840	2,520	4,480
		(b) 予算現額	7,200	6,676	6,840	2,520	5,276
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 524	0	0	796
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	7,200	6,676	6,840	2,520	5,276
	B. 執行済額		5,361	5,660	5,920	2,078	4,891
	うち交付金充当額		4,288	4,527	4,735	1,662	2,345
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		74.5%	84.8%	86.5%	82.5%	92.7%
予算の状況の説明		当初想定より派遣大会が増えたため、796千円を他事業より流用した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	児童生徒派遣費の一部を助成		目標 (派遣費の一部助成)	(派遣費の一部助成)	(派遣費の一部助成)	(派遣費の一部助成)	
			実績 派遣費の一部助成	派遣費の一部助成	派遣費の一部助成	派遣費の一部助成	
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	県外大会へ出場する児童生徒に対し派遣費の一部を補助した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。		目標 ()	()	(80%)	(80%)	()
			実績		100%	100%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	補助対象となった児童生徒に対しアンケートを行った結果、全ての児童生徒より有意義であった旨の回答が得られた。					

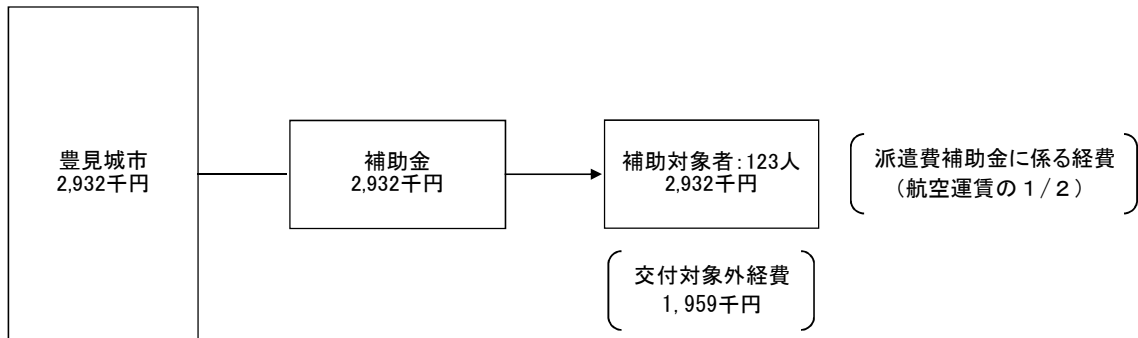
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アンケート調査の結果、個人種目、団体競技ともに有意義であったとの回答が得られたが、県外の同世代のプレーを直に感じることができた結果、このような回答となったと考えられる。	離島県である本県にとって他県児童生徒との交流による自身の気付きや、競技等に対する意識の違いを肌で感じることができ有意義であった旨の回答が殆どであったことから、本事業については引き続き継続実施する必要があると確認した。 また、年々、申請件数が増えているため、要望に応えられるよう取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

申請件数が増えているので、派遣費補助申請について遅延等が発生しないよう申請スキームを分かりやすく案内し、要望に応えられるよう取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,891	2,932	2,345	587	1,959



資金の流 れ、費 目・ 使途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助要綱に沿った事業執行であるため補助先の選定方法は妥当である。 ○予算規模は補助申請に基づいた規模であったため適正である。 ○交付要綱に基づいた支出となっているため、受益者との負担関係は妥当である。 ○補助要綱に沿った支出であり費目・使途は適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア	
担当部署	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,200	7,200	6,840	4,320	5,400
		(b) 予算現額	7,200	6,676	6,840	4,320	6,542
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 524	0	0	1,142
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		7,200	6,676	6,840	4,320	6,542
	B. 執行済額		5,361	5,660	5,920	3,135	4,811
	うち交付金充当額		4,288	4,527	4,735	2,508	3,848
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		74.5%	84.8%	86.5%	72.6%	73.5%
予算の状況の説明		予算現額のうち、約9割を執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	児童生徒派遣費の一部を助成	目標	(派遣費の一部助成)	(派遣費の一部助成)	(派遣費の一部助成)	(派遣費の一部助成)	
		実績	派遣費の一部助成	派遣費の一部助成	派遣費の一部助成	派遣費の一部助成	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	児童生徒派遣費の一部助成について、県外大会へ出場する児童生徒に対して、派遣費補助を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	(99%)
		実績			99.10%	98.90%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・県外派遣の児童生徒数は284人であり、当該児童生徒に対して派遣費補助を行い、本市の人材育成に役立てることができた。 ・対象児童の視野が広がったかについて、派遣補助児童生徒を対象にアンケートを実施した。284人からの回答を集計した結果、「今回の大会に出場して技術面に関する課題が見つかった。」等に対し「はい」と98.9%の回答を得ることができた。 						

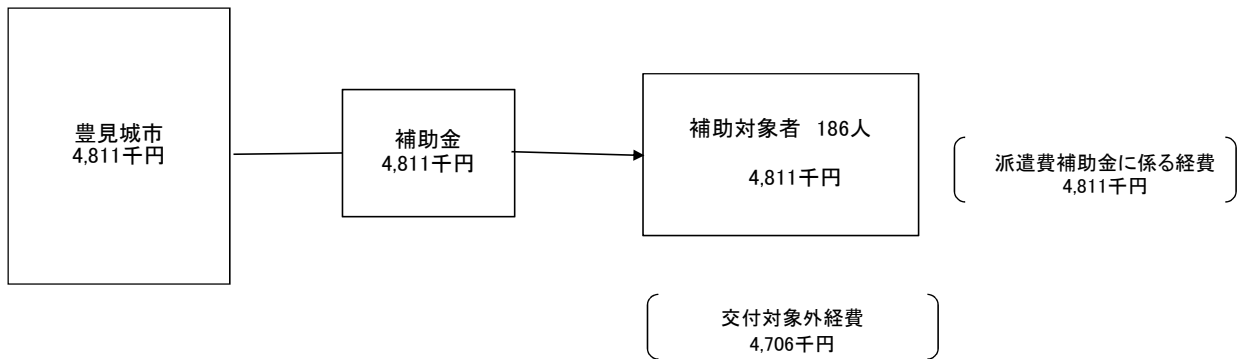
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成30年度と比較すると、補助対象人数が約100名増加し、より多くの市民に活用していただくことができた。その一方で、期限を過ぎて申請をする方も増加しており、補助することができない市民もいた。	引き続き広報誌やホームページ等による周知や、各学校からも県外大会出場者に対して補助ができる旨の報告を依頼する。

今後の取り組み方針

広報誌やホームページ等の掲載を続けるとともに、学校への案内や派遣がかかった大会主催者への周知等を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,517	4,811	3,848	963	4,706



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助(支出先)は交付要綱に沿って行っており、選定方法は適正と考えている。 ○予算規模については、対象者からの申請に基づいた規模になっているため、適正である。 ○交付金での対象は、航空運賃1/2であり、それ以外については、市負担、保護者負担となっているため、受益者との負担関係は妥当である。 ○補助は交付要綱に沿って行っており、費目・用途は適正と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

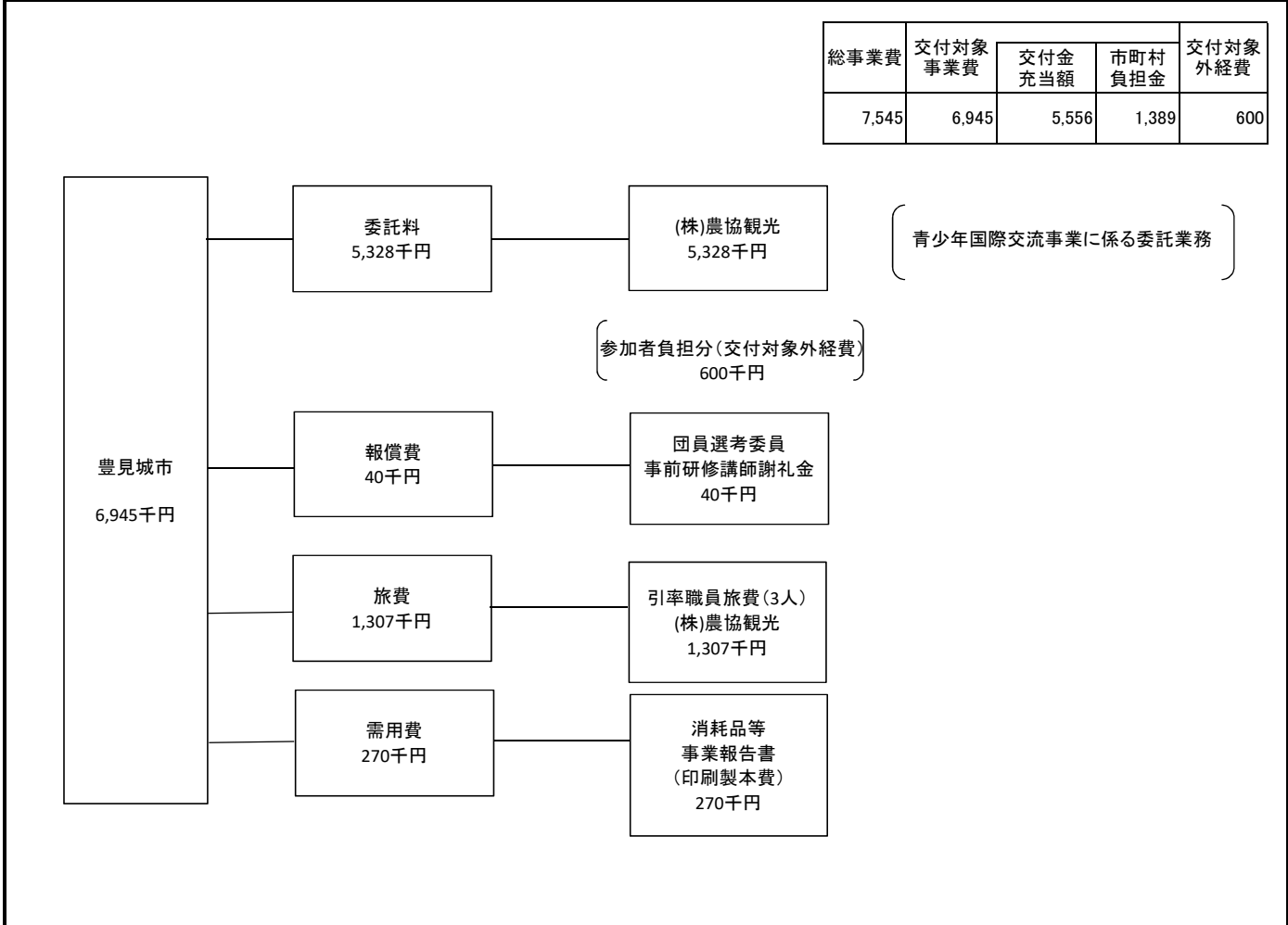
市町村名		豊見城市				
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	4-⑨ 青少年国際交流事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア	
担当部署名	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心をさらに高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供し、次代を担う国際的な人材を育成する。					
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)					
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	6,300	7,109	7,247	7,203
	(b) 予算現額	5,869	7,270	7,247	7,203	7,419
	(c) 増減額(b-a)	▲ 431	161	0	0	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	5,869	7,270	7,247	7,203	7,419
	B. 執行済額	5,165	6,565	7,160	7,183	6,945
	うち交付金充当額	4,131	5,252	5,728	5,746	5,556
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	88.0%	90.3%	98.8%	99.7%	93.6%
予算の状況の説明	計画していた事業内容は全て予算内で執行されており、予算執行の点においては適正であったと考えているが、活動目標(団員派遣人数の減)において課題が残った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	市内中学生14名をハワイ州に派遣	目標	(14名)	(14名)	(14名)	(14名)
		実績	14名	14名	12名	12名
報告会の開催(1回)	目標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)	
	実績	1回	1回	1回	1回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度まで14人の団員(生徒)を交流事業に参加させることができていたが、H30年度以降は市場価格の高騰により、団員を12人に減らさざるを得なかった。 ・豊見城の文化、歴史、観光について、選考試験における小論文のテーマに採用したり、事前研修の講習に取り入れることで、国際交流を行う上で重要な自分の地域についての理解を深めるきっかけができた。 ・毎週2時間、ALT講師による英会話を充実させたことで、団員による現地での自己紹介やサンキュースピーチを堂々と行うことができた。 ・帰国後は、報告会を開催し、生徒自身が保護者をはじめとした関係者の前で研修内容を報告することにより、リーダーとして向上心や積極性をアピールできる機会を設けることができた。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		目標	()	()	(80%)	(80%)
	実績			58%	67%	
	【参考指標】国際的人材を育成するため国際交流や地域貢献活動に自ら積極的に取り組む意識を向上させる。(【応募倍率】応募者数/派遣人数)	目標	()	(3倍)	()	()
実績			【4.36倍】61/14人			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から成果指標を現在の指標に改めた。アンケート項目中「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」との質問に対し、「思う」が67%、「今はまだわからない」33%、「思わない」0%だった。 ・海外派遣に参加すると、自らの地域(沖縄県・豊見城市)の文化、歴史、産業のことを十分に知っていないことを自覚し、帰国後、海外での経験や報告会等を通して自らの地域を国際的な視点で知ろうという意識が高まる傾向にある。 ・指標目標の80%を達成できなかったが、前年度より増加しているため一定の成果は得られたと考える。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	団員の選考方法において、1次試験(筆記試験及びリスニングテスト)を各中学校にて実施しているが、実施する中学校教師にとって負担が大きいとの意見がある。	教諭の「働き方改革」の推進もあり、教育委員会所管課(生涯学習振興課)にて教諭の負担軽減策を検証する。

今後の取り組み方針

次年度以降、各中学校にて実施していた1次試験を中央公民館で一斉に実施し、教育委員会にて選考試験の全てを実施できるよう検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札にて選定しており、妥当である。 ○市全体の予算の都合で、例年確保していた団員定数14人の予算を確保することができず、派遣人数が2人減となった。 ○参加料及び委託料等の受益者負担割合は適していたと考える。 ○事業目的達成に適した用途の支出であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-10	お仕事体験事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-イ	
担当部署名	総務企画部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成30年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	若年層の雇用促進		
事業内容	豊見城市内の小中学生を対象に、様々な仕事の疑似体験ができるイベントを開催することで、若年のうちから将来の職業観を育て、夢や希望を抱かせることを目的とする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		1,854	2,000			
			1,854	2,000			
			0	0			
			1,854	2,000			
	B. 執行済額 うち交付金充当額		1,854	2,000			
			1,483	1,599			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明	事業計画どおり執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	年1回の事業実施	目標	(年1回)	(年1回)			
		実績	年1回	年1回			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	計画どおり実施できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)		()
		実績		98%	96%		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	満足度について、子供用、保護者用、出展者用の3種類のアンケートを実施した。児童生徒については、お仕事体験の内容について「とても良かった」、「良かった」の回答が96%となり、夢や希望を持ちつつ、就業意識を向上させることにつながった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットでの事前予約制としたことにより、混雑が無くスムーズであったが、例年より参加者が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数の増加とスムーズ性を可能な限り両立する必要がある。

今後の取り組み方針

・ネットでの事前予約制について、さらなる周知を図っていくと同時に、他の受付方法についても検討を進める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,000	2,000	1,599	401	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	プロポーザルによる委託事業者の選定を行い、委託料を適正に支出した。実績報告等をもとに、事業の運営に必要な経費にかかる支出であることを確認できた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	学校給食施設塩害防止長寿命化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	豊見城市立学校給食センターの耐久性向上を図ることで、衛生環境の強化と安心安全な学校給食の提供を目指す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		(a) 当初予算額	35,225				
	(b) 予算現額	60,513					
	(c) 増減額(b-a)	25,288					
	(d) 繰越額	0					
	A. 計(b+d)	60,513					
	B. 執行済額	52,849					
	うち交付金充当額	42,279					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	87.3%					
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> 調査設計委託業務の成果から当初より工事費が増額することがわかったため工事請負費を増額し、また工事の監理業務に係る委託料を増額した。 その後一部検出されたアスベスト除去作業やひび割れ補修の追加、消費税10%対応分の増額を行った。 不用額については、委託料及び工事請負費の入札残によるものである。 						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	外壁塗装等設計 外壁塗装等工事	目標	外壁塗装工事と排水溝改修工事の実施	()	()	()	
		実績	外壁塗装工事と排水溝改修工事の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 外壁塗装工事は、学校給食の提供がない夏休み期間で全て完了する予定だったが、窓枠シーリングから非飛散性アスベストが検出されたことにより、アスベストの除去作業を追加したため工期が延びた。給食提供に影響が出ないよう十分な注意を図りながら作業を実施し完了した。 排水溝改修工事についても、台風接近の影響による県外からの資材の配送遅延が懸念されたが、学校給食の提供がない夏休み期間内で完了することができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		学校給食衛生管理基準違反	()	(0件)	()	()	()
		実績		0件			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 年2回実施している施設衛生検査では、「学校給食衛生管理基準」に係る違反についての指摘は受けなかった。 調理場内環境の清潔度を評価する落下細菌検査(真菌など)については、捕獲数の減少が確認された。 検査員からは県内の他施設に比べると調理員の意識も高く評価が高いとの講評があったが、施設が古いこともあり、衛生管理については引き続き高い意識をもって作業を行うようアドバイスがあった。 					

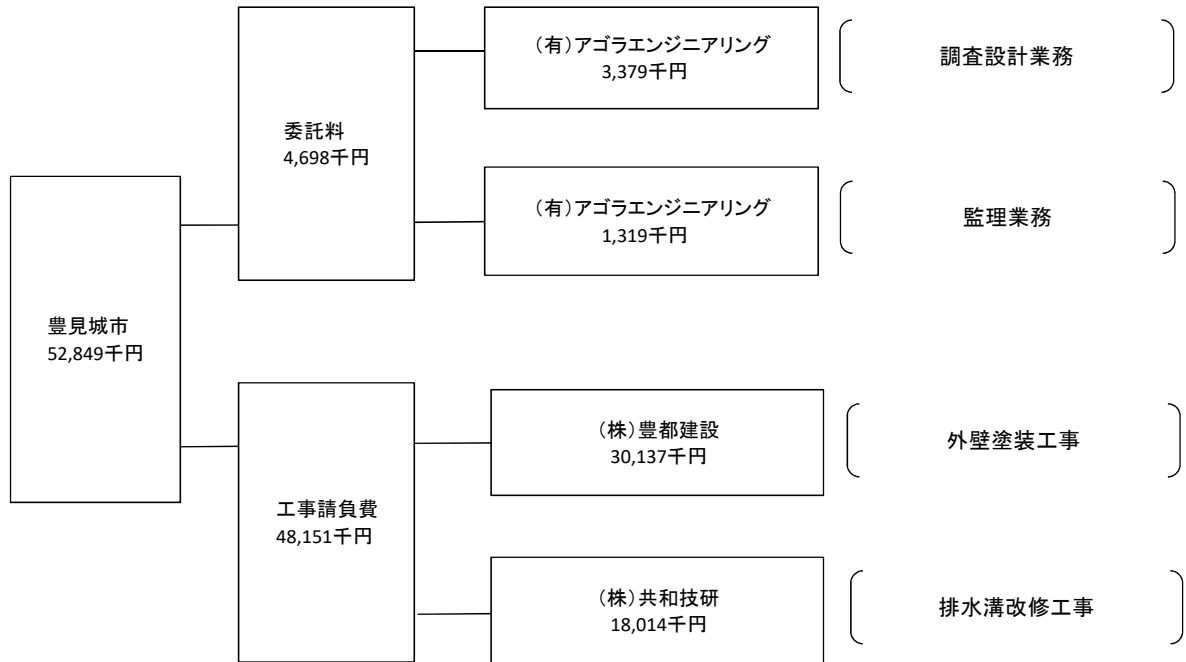
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・給食センター施設全体にひびが確認されたが、今回の工事で機能強化をすることができたため、施設の耐久性の向上を図ることができ、安心安全な学校給食の提供につなげることができたと考え。また外観が明るくきれいになったことで、周辺環境改善にも寄与していると考え。</p> <p>・窓枠のシーリングから当初想定していなかった非飛散性アスベストが検出されたことで、工期が大幅に伸びてしまい、当初予定していた夏休み期間中の作業完了とはならなかったが、給食の提供に影響が出ないように作業ができたと考え。</p>	<p>・今後、給食センターで行う大きな工事等については、小中学校の夏休み期間を考慮した場合、事業期間を複数年として、できる範囲内で取り組むやり方についても検討が必要と考える。</p>

今後の取り組み方針

・学校給食衛生管理基準を守っていくためには、今回の取り組みだけでなく、給食センターで働く全員の高い意識も大切であるため、日々の確認事項・作業手順の徹底を引き続き意識して行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
52,849	52,849	42,279	10,570	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・工事共に事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○想定していなかったアスベスト除去等への対応のため予算を増額したが、実際は適切に数量等を把握したうえで執行したため、執行残は多いが適正規模であると認識している。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

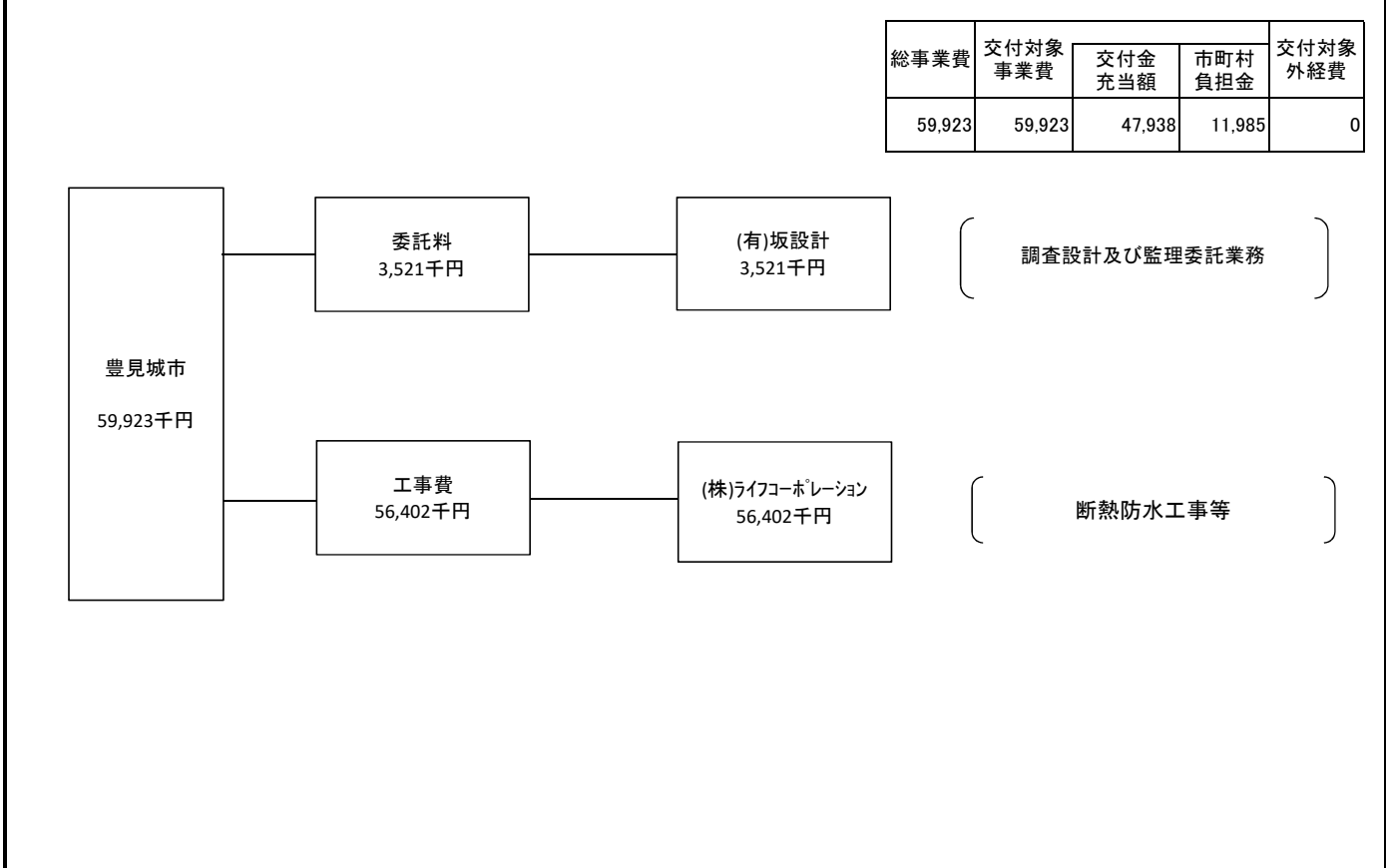
市町村名	豊見城市						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑫	学習環境等整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-イ	
担当部署名	教育部 生涯学習振興課(中央図書館)	事業実施(予定)年度	令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	家庭・地域の教育機能の充実		
事業内容	豊見城市立図書館において、学習スペース・研修室等を利用する児童生徒の学習環境と、沖縄の歴史・民俗資料等の保存環境の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	60,900				
		(b) 予算現額	59,924				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 976				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	59,924				
	B. 執行済額		59,923				
	うち交付金充当額		47,938				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算額から工事・委託の入札残及び工事の変更に伴う増額を差し引き、残額976千円を予算減額し、計画していた事業内容は全て予算内で執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	調査設計及び監理委託業務	目標	(委託完了)	()	()		
		実績	委託完了				
	断熱防水工事等	目標	(工事完成)	()	()		
		実績	工事完成				
達成状況説明	調査設計及び監理委託業務については、令和2年3月18日に業務成果物引渡しを受け完了した。断熱防水工事等についても、令和2年3月18日に引渡しを受け完成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R2年度)
	調査設計及び監理委託業務の実施 断熱防水工事等の実施	目標	()	(委託・工事完了)	()		()
		実績		委託・工事完了			
	【R2年度以降の成果目標】 ・「学習環境の快適性が改善した」と回答した者の割合(80%以上)	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			-	-	
	【R2年度以降の成果目標】 ・漏水等の影響による保管された歴史・民族資料等の破損・劣化等の発生件数(0件)	目標	()	()	(0件)	(0件)	()
実績				-	-		
進捗状況説明	調査設計及び監理委託業務については、令和2年3月18日に業務成果物引渡しを受け完了した。断熱防水工事等についても、令和2年3月18日に引渡しを受け完成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>本事業の目的である快適性の改善は、整備前で検証が困難なため、令和元年度は成果目標として定性的な指標を設定した。</p> <p>快適性の改善を図る為、令和元年度で調査設計及び監理委託業務・断熱防水工事等を行った。</p>	<p>設計及び工事は完了しており、R1成果目標に対する改善の余地はない。</p> <p>しかし、快適性の向上は、温度、湿度等の定量的な指標で計ることは難しいとして、R2以降の成果目標に「学習環境の快適性が改善した」と回答した者の割合(80%以上)、漏水等の影響による保管された歴史・民族資料等の破損・劣化等の発生件数(0件)を掲げて改善を図る。</p>

今後の取り組み方針

快適性の向上は、温度、湿度等の定量的な指標で計ることは難しいとして、利用者に対し快適性が向上されたかアンケート調査を実施し、本事業の効果を検証する。また、図書館長及び教育委員会による定期的な巡回点検など、適正な施設管理を継続して行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託及び工事業者の選定は指名競争入札で行っている。</p> <p>○図書館のみを対象とした規模の事業費であり、適正であった。</p> <p>○図書館運営は営利目的ではない為、受益者である利用者は負担を要しない。</p> <p>○委託料及び工事費は事業達成に不可欠であり、検査も受検していることから費目・使途は適正と考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①		組踊継承事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
	担当部課名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	豊見城が題材となっている組踊「雪払」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額			655	5,122	745
	(b) 予算現額			655	5,122	724	
	(c) 増減額(b-a)			0	0	▲ 21	
	(d) 繰越額			0	0	0	
	A. 計(b+d)			655	5,122	724	
	B. 執行済額			555	4,079	724	
	うち交付金充当額			444	3,263	579	
	次年度繰越額			0	0	0	
	執行率(%) (B/A)			84.7%	79.6%	100.0%	
予算の状況の説明		精算払いであるため、会議数の回数減等で予算の変動があるため、不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	上演台本の検討と編集	目標	()	()	()	(検討と編集)	
		実績				検討と編集の完了	
	【参考指標】 組踊「雪払」上演 1回	目標	()	()	(1回)	()	
		実績			1回		
達成状況説明	H30年度に実施した上演を基に、上演台本(台詞、舞台展開、楽譜)の編集委員会を設置し、編集・発刊を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		目標	()	()	()	(50部)	()
	実績				50部		
	【参考指標】 組踊「雪払」台本増補 上演出演者数 上演来場者数	目標	()	(台本増補 100部)	(出演者23名 来場者646名)	()	()
		実績		100部	出演者30名 来場者660名		
	進捗状況説明	上演台本編集委員会を5回開催し、内容を精査した結果完成し、50部発刊した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>平成30年度の上演について、出演者や研究者の意見を聞き、上演台本編集委員会で項目の見直しや修正を行いつつ編集し完成した。</p> <p>組踊の台詞や歌詞は、組踊が成立した琉球王国時代の言葉が使用されており、継承者には障壁になる場合がある。そのため、上演台本では現代訳を付することで継承者が学びやすいよう配慮されている。</p> <p>上演台本編集委員会は、重要無形文化財保持者の実演家や研究者を中心に構成しており、日程調整や安全対策も不可欠であった。</p>	<p>当該上演台本では現代訳を付することで継承者が学びやすいよう配慮されているが、今後は一般向け・児童生徒向け等の普及版を検討する必要性も考えられる。</p> <p>上演台本のPDFや上演時の映像などを公開し、豊見城市が発信する文化振興の活性化と伝統文化の保存継承に寄与する。</p>

今後の取り組み方針

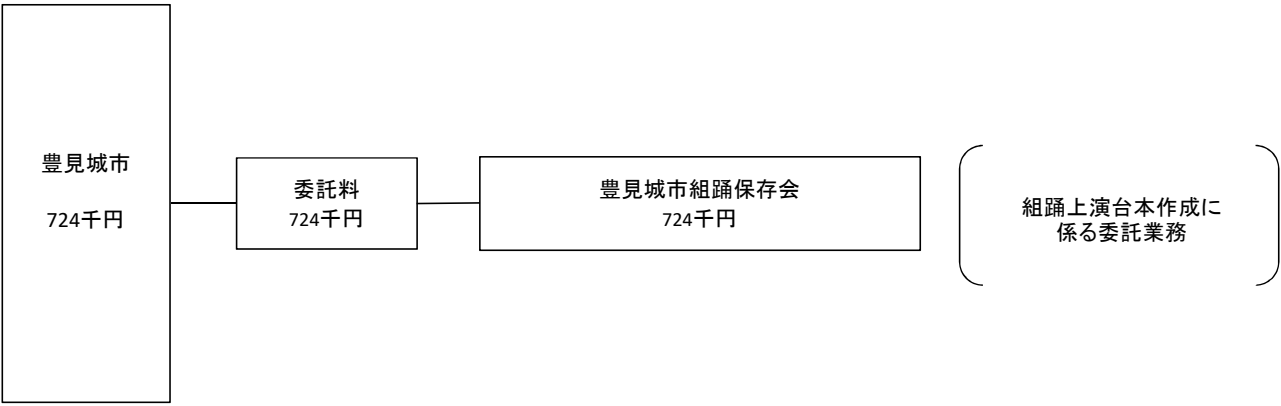
完成した上演台本を継承者育成に役立ててもらうため、育成側や大学等機関に配布する。

上演を見据えた継承者育成として重要無形文化財保持者の実演家による練習会を実施し、年間20人の参加者をめざす。

組踊継承者の育成と先進地の取組みを参考にし、地域に根差した文化資源を活用し、文化振興を継続的に実施して行く。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
724	724	579	145	0



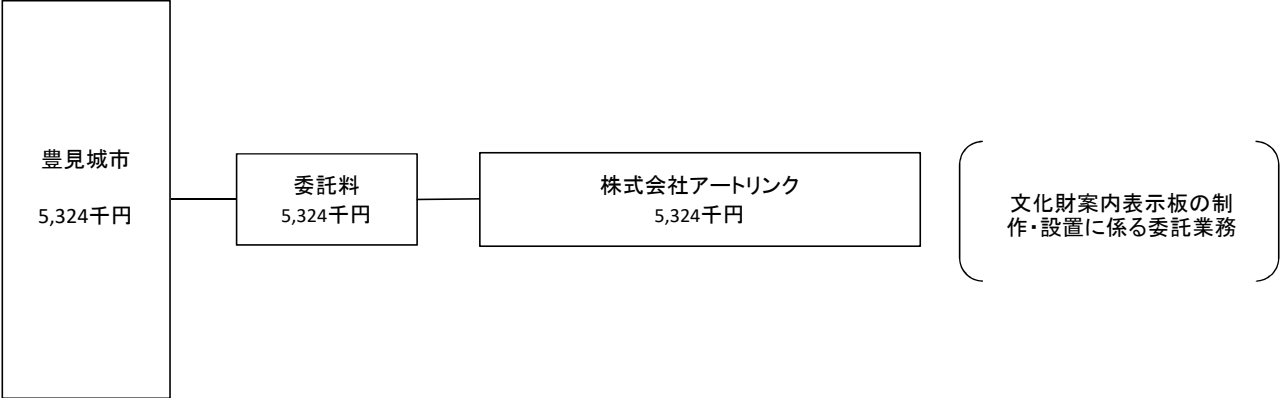
資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、市内で組踊継承活動する唯一の事業者であることが明確であるため、選定は適切であったと考えている。</p> <p>○予算規模は、適切に予算を設定している。</p> <p>○予算の費目・使途については、事業に必要最低限に設定し、執行している。委託業務完了段階で検査を行っており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	文化財案内表示板設置事業					
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度 令和元年度～令和2年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり					
		沖縄振興基本方針該当箇所 III-3-(2)					
事業内容	市民等が文化財に訪れやすい環境を整備するため、文化財に至る案内表示板を設置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,412				
		(b)予算現額	5,412				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A. 計(b+d)	5,412				
	B. 執行済額	5,324					
	うち交付金充当額	4,259					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	98.4%					
予算の状況の説明	88千円の不用額は入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	文化財案内表示板 制作30基	目標	(30基)	()	()		
		実績	34基				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	各地域の文化財ごとに案内表示板を制作し、文化財に至る道路に34基設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	「豊見城市文化財マップ」の年間アクセス数 25,550回/年	目標	()	(25,550回)	()		()
		実績		50,945回			
	文化財巡り参加者 30名/年	目標	()	30名			()
		実績		400名			
	進捗状況説明	ホームページ上に文化財の案内マップを公開しており、案内表示板を設置することでアクセス増加につながり、年間アクセス数目標値を超える50,945回となった。 文化財を訪れやすい環境を市民に認知してもらうため、ガイドの会による巡検や、市職員の研修、小学校等の文化財巡りにおいて、目標人数30名を超える400名の参加があった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・当初設置を検討していた場所の権利者と調整が不調となり変更が必要になる事があった。 ・案内板表示板の設置対象の多くが未指定文化財となっているため、国道や 県道への案内表示板設置が難しく、市道を中心に視認性を考慮した設置位置の検討が必要になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に事業を進めるため、設置場所の検討・決定・調整をより早める必要がある。 ・設置場所の景観を損なわないよう案内板のデザインも検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き案内表示板の設置に取り組むとともに、利用の周知にも取り組む。 ・文化財巡りの参加人数の増を図るため、文化課による巡検等の開催に取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,324	5,324	4,259	1,065	0



資金の流 れの流 れ、費 目、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、適切に予算を設定している。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	サッカーキャンプ誘致推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部署名	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	R1~R3	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	サッカーキャンプ受入に必要な機械備品の購入や芝生の維持管理委託を行い、サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を構築することで継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,330				
		(b) 予算現額	9,790				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,540				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	9,790				
	B. 執行済額		9,790				
	うち交付金充当額		7,832				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		サッカーキャンプ受入に必要な芝生整備のための機械備品として、三連芝刈り機1台及びスーパーを1台購入した。その際、入札執行残額として1,540千円不用額が生じたため減額補正を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	プロチームへの誘致活動	目標	(誘致活動の実施)	()	()	()	
		実績	誘致活動の実施				
	環境整備のための要望調査	目標	(要望調査の実施)	()	()	()	
		実績	要望調査の実施				
	県内の先進自治体視察による情報収集	目標	情報収集の実施				
		実績	情報収集の実施				
	備品の整備	目標	(備品の整備)	()	()	()	
		実績	備品整備の実施				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> プロサッカークラブの視察受け入れの際のPR活動を行った。 プロサッカークラブキャンプ受入にあたり、県サッカー協会及びクラブチームへの要望調査を実施した。 県内で継続的にサッカーキャンプを受け入れている自治体への視察を実施した。 サッカーキャンプ受入に必要な芝生整備のための機械備品として、三連芝刈り機1台及びスーパーを1台購入した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	プロチームへの誘致活動の完了	目標	()	(誘致活動の実施)	()	()	()
		実績		誘致活動の完了			
	環境整備のための要望調査の完了	目標		要望調査の実施			
		実績		要望調査の完了			
	県内の先進自治体視察による情報収集の完了	目標		視察実施			
		実績		視察完了			
	備品の整備の完了	目標	()	(備品整備)	()	()	()
		実績		備品整備の完了			
	【R2度以降成果目標】 サッカーキャンプ受入件数:2件/年		目標	()	(2件)	()	()
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> プロサッカークラブの視察受け入れの際のPR活動を完了した。 プロサッカークラブキャンプ受入にあたり、県サッカー協会及びクラブチームへの要望調査を完了した。 県内で継続的にサッカーキャンプを受け入れている自治体への視察を完了した。 令和元年度サッカーキャンプ受入に必要な芝生整備のための機械備品として、三連芝刈り機1台及びスーパーを1台購入することができた。 					

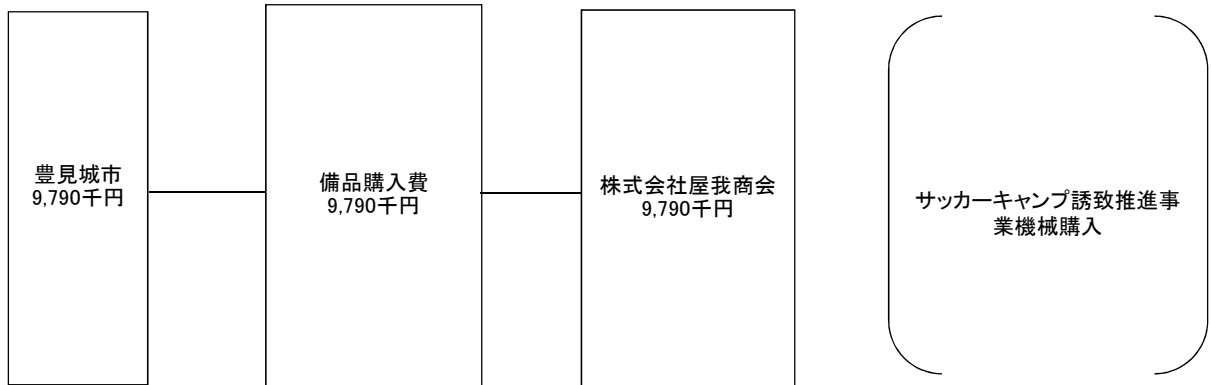
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(芝生管理業者の選定) ・サッカーキャンプ受入可能な芝生の草種変更及び管理に対し、技術と実績がある業者による実施。 (キャンプ受入の定着化) ・今後キャンプ受入実施の実現及び、継続的なクラブチームとの受入関係の構築のために市民との交流等、より地域に密着した関係の構築が課題となっている。	(芝生管理業者の選定) ・サッカーキャンプ受入可能な芝生の草種変更及び管理に対し、技術と実績がある業者の選定を行う。 (キャンプ受入の定着化) ・今後キャンプ受入実施の実現及び継続的なクラブチームとの受入関係の構築のために市民との交流や合宿受入の際の周知を図り機運を高めるとともに、受入チームの要望等を実現し、継続的な受け入れに繋げる。

今後の取り組み方針

・持続可能なサッカーキャンプ受入に向けて、受入可能な芝生への草種変更を行える、専門的な知識と技術を持つ業者を選定するとともに、サッカーキャンプ受入の際に市内スポーツ少年団とクラブチームとの交流を検討する。また、受入クラブチーム情報を市HPで積極的に発信し、市民の受入機運を高め、継続的な受け入れ体制に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,790	9,790	7,832	1,958	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の14%以内で生じたが補正による減額を行い、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目的に必要な備品整備のための見積書を基に設計を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	